

かみくげ 恐竜の里新聞

平成二年九月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第16号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

「元氣村かみくげ」が 営業開始

7月20日、化石発見地見学者用駐車場に完成し、丹波市長ほか市・県の要職を招いて開所式をすませた販売活動拠点「元氣村かみくげ」が、土・日、祭日に限定して開店しています。

施設は地域の減農野菜販売コーナー、恐竜関連グッズコーナー、コミュニティルーム、化石発掘体験コーナーに分かれ、それぞれに販売員や体験指導員をおいて来訪者の対応をしています。

農野菜コーナーはかみくげの野菜、つくりグループのメンバーが中心となって丹精をこめて栽培した有機農野菜を種々ならべて営業しています。同じコーナーには丹波竜お守りや「ちーたん」ぬいぐるみなど恐竜関連グッズを陳列しています。

野菜販売コーナーを管理する西田幸男さんは「有機野菜の栽培に関心を持つ生産者にどんどん野菜づくりグループのメンバーに加わってもらい、地域の新鮮野菜を数多く出品することによって集客を図りたい。また地域内の人にも広くPRして利用してもらいたい」と熱く訴えています。



農野菜コーナー

化石発掘体験コーナーは「丹波竜化石をさがそう」と横断幕を揚げ、かみくげホームページにも掲載して市内外からの家族連れらが参加して発掘を体験しています。部屋から聞こえるハンマーの音や化石らしきものを見つけては歓声をあげる子どもたちの声が施設内にひび渡ります。発掘体験を指導するのは、発掘現場で調査ボランティアに参加したメンバーの中から、人と自然の博物館から認定された指導員が丁寧な対応をしています。



化石発掘体験コーナー

体験指導員の一人、友井幹雄さんは「夏休み期間中は子どもたちが参加して多くの化石を見つけました。今でも、特に日曜日はこどもに交じって大人も一緒にやって懸命に化石さがしをしています。来年年明けから4次発掘がはじまるとまた大勢の人が来て、体験もしてくれると有り難いです」と話していました。



軽食コーナー

軽食コーナー、談笑室も9月の大型連休からオープンし、おにぎり、お好み焼きなどの販売を始めました。今後、メニューを増やし、商品開発をつづけながら、施設をより充実させて来訪者の期待に応えたいとしています。

地区体育大会開かれる 上久下小学校



お菓子とり競技に参加の幼児たち

第53回上久下地区体育大会が9月20日秋晴れの穏やかな天候のもとで盛大に開かれました。

午前中の小学生、幼稚園の児童・園児の演技につきき、午後は地域自治会対抗競技を行い、各自治会会員がそれぞれ力を合わせて、日頃の練習の成果を競い合いました。

本年度の総合優勝は畑内自治会チーム、準優勝は阿草部落チームでした。



旧上久下発電所跡 改修工事に入る

丹波竜化石発見を機に国の登録有形文化財の認定を受けた上久下発電所跡の改修工事が始まりました。12月初旬の完成を目指しています。

改修後の利活用の方法については地元・市当局と検討会を持つことになっていますが、地元としては発電所稼働時の様子を思い起こせる当時の写真を掲示したり、恐竜化石や自然風景写真などの展示施設として有効に利用する計画です。発電所内の窓からながめる河川の風景はさぞすばらしいことでしょう。みなさん期待して完成をお待ちください。

99体の恐竜像が完成 小鳩の森で親子が作成



製作のようす

夏休み期間中に上久下小学校、幼稚園の児童・園児と保護者は、同窓会・自治会役員の指導で、電動系のこを使って木版を切り抜き99体の恐竜の形を作り上げました。

99体の恐竜にはそれぞれこどもたちが名前をつけて、バーナーで焼いたり、着色したり、工夫をこらしてみごとに完成しました。これら作品は9月3日から20日までの間、小鳩の森(旧こぼと保育園)で展示され、多くの来場者はほえましい作品展を楽しみました。



展示中の恐竜像

化石発掘体験に 街の小学生が参加予定

9月から10月にかけて、三田市や川西市などの小学生の課外活動として丹波竜発掘現場見学と化石発掘体験に340人がやってきます。

化石発見から3年目を迎えますが、依然として恐竜人気は高く、街のこどもたちの関心を引いています。地元のすぐれた自然環境の中でこどもたちが学ぶことも多く、かみくげを広くPRできる機会でもあります。

内訳は9月25日に三田市けやき台小学校から110人、10月2日に三田市狭間小学校80人、10月8日に川西市多田東小学校から150人を予定しています。地元のみなさんとの交流の機会もあればいいですね。

おねがい

道づくり地域づくり事業としてのイベント「まるごと時代の博物館」が12月6日(日)、上久下発電所跡から恐竜の里駐車場までの道沿いと、丹波竜の里「元氣村かみくげ」周辺で開催されます。大正11年に完成した発電所が12月によりがえることを記念して、当時の様子を思い起こすプロジェクトとして「大正ロマン街道」を地域住民の手で展開し、地域の歴史を広く広報するために事業を企画し、県に応募したところ採択されたものです。

イベントを成功させるために、地域の皆さんが大切に保存されている物品を資料提供の形でお貸し出し願えませんか。例えば、古いランプなどの電気器具や機材、当時の写真、農器具などありましたらよろしく願います。集落役員の方までお伝えください。

9月の予定

◆10月17日(土) 里づくり協議会午後7時30分より 地域づくりセンター